

関西大学 SDGs パートナー登録団体一覧（五十音順）※登録月別

2025年10月末時点

NO.	団体名	SDGs への取組概要	目指すゴール
1	関西 SDGs プラットフォーム 教育分科会 SDGs ナレッジラボ	学生が SDGs について学び、考える機会を提供するとともに、またそのプロセスにおいて学生が市民社会・企業等とパートナーシップを組み、活動を促進する働きかけを行います。そして関西地域全体における SDGs の浸透と達成に寄与することを目的とし、関西 SDGs ユースアクションを開催しています。関西 SDGs ユースアクション参加に向けて、学生が SDGs について学べるワークショップやイベントを開催します。	
2	株式会社 N T T ドコモ	食品ロス削減アプリ「ecobuy」の開発を行い、東京都の平成 29 年度『「持続可能な資源利用」に向けたモデル事業』に採択され、実証実験を実施しています。令和 2 年 1 1 月経済産業省の実証実験にも参加し、今年度 9 月に正式サービス開始予定です。	
3	株式会社 島津製作所	社は「科学技術で社会に貢献する」、経営理念「“人と地球の健康”への願いを実現する」を具現化しながら、創業以来、社会課題の解決を図ってきました。SDGs に対しては、社内リソースを踏まえて貢献できるゴールを定め、製品・技術による貢献と、自社内の事業活動による貢献の両側面から取り組んでいます。	
4	株式会社 HAMONZ	Sports for Social という、スポーツを通して社会貢献活動を応援するメディアを展開しています。アスリートとのタイアップでの企業の社会貢献活動の紹介、NPO や J リーグクラブなどの団体の活動の取材記事、ユーザーからの寄稿による個人の活動などをメディア掲載しています。	

5	株式会社学研プラス	「誰一人取り残さない」という SDGs の基本理念は、すべての人が心ゆたかに生きる世界の実現を目指す、学研グループの理念と重なります。その企業理念のもと EdTech による教育サービス、スマート教育、モンテッソーリ教育、グローバル人材の育成、女性活躍推進事業を展開しています。持続的な塾・学研教室などの教育サービスの提供、リカレント教育、産学連携、女性の社会進出へ向けた取り組みの他、多世代が支え合いながら、地域の中で安心して暮らせる街づくり、『学研版地域包括ケアシステム』の実現などを図っております。	
6	堺市	堺市は、2018 年 6 月、SDGs 未来都市に大阪府内の自治体で初めて選定されました。 SDGs 未来都市として、国際社会の普遍的目標である SDGs に貢献する視点に立ち、「堺市 SDGs 未来都市計画」を策定し、SDGs 達成に向け取り組んでいます。また、令和 3 年 5 月 26 日に「さかい SDG s 推進プラットフォーム」を設立し、会員同士がつながりながら SDGs に取り組み、地域課題の解決に向けた活動を行います。	
7	一般財団法人 日本品質保証機構 (JQA) マネジメント システム部門	当機構は、「社会・経済のインフラストラクチャーである認証事業を通じて安全・安心で豊かな社会づくりに貢献します」との基本理念を掲げています。 当機構が提供する認証・試験・検査サービスを通じて、お客さまはもとより社会全体のさまざまな課題解決に貢献することが、SDGs への取り組みにつながるものと考えています。 そして、第三者認証機関のパイオニアとして、ISO 認証の初期から審査に取り組み、第一人者として実績を重ねてきました。 SDGs という大きな目標に対して、組織のマネジメントシステムの貢献が期待されます。JQA は ISO の審査にとどまらず、教育・支援を含む総合的なサービスを提供しています。 当機構は、SDGs に貢献するサービス提供やグローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンの活動等を通じて、積極的な協働を加速し SDGs の達成に貢献してまいります。	

8	レッドホースコーポレーション株式会社	小中高校生向けに校外学習の教育施設として、プログラミング等のデジタルコンテンツを体験頂いております。また、今年度より海外の日本語学校向けに REDEE の学習コンテンツを無料で学んで頂けるよう活動を行っております。	
9	株式会社ワークアカデミー	私たちは、教育サービスをコア事業とし、これまで SDGs をテーマとした探究学習の教材開発や、教育機関での出張授業、また各種ワークショップやイベント等、持続可能な社会の担い手を育成するための様々な取り組みを実施して参りました。また弊社を設立母体とする一般社団法人にて、中高生、学生を対象とした SDGs をテーマとした探究学習の成果発表の場として、「SDGs 探究 AWARDS」を設立。全国から SDGs 達成に向けた生徒・学生たち自身ができるアクションを表彰するコンテストを企画運営しています。	
10	ジエールサイエンス株式会社	当社は、有害化学物質や水質検査、大気汚染物質の分析を行うための装置や消耗品を取り扱っており、それらの新規開発・製造・安定供給に取り組み、環境保全に貢献します。また、環境に配慮した資材調達、省エネルギー活動の推進、化学物質管理の徹底など、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいます。 近年は製造工程における環境負荷低減についても検討を進めています。	
11	法政大学 SDGs+ (プラス) プロジェクト	SDGs 科目群の設置やティフィケートプログラム実施。 SDGs オンライン人材育成プログラム実施 SDGs 実践知ゼミナール実施	
12	株式会社モリサワ	モリサワは、社会インフラのひとつであるフォントやサービスを通じて、情報やコミュニケーションの質を向上し、お客様の SDGs の取り組みに貢献します。 具体的な取り組みとして、SDGs 目標 4「教育」に関連して「伝わる資料づくり」「伝わる情報発信」セミナー、ユニバーサルデザインの考えで作られた「UD フォント」研修会を自治体、学校向けに実施しております。また、SDGs 目標 17 の「パートナーシップ」にも則り、情報やコミュニケーションの改善の面で協力・協業できるパートナーづくりにも努めています。	

13	キリンビバレッジ株式会社	【3.健康】 「プラズマ乳酸菌」等の健康価値を訴求した商品の開発・販売 【12.つくる責任】 FSC 認証紙採用による資源の有効活用 【14.海の豊かさ】 「R100 ボトル」の導入等による PET ボトル資源循環の推進 【15.緑の豊かさ】 スリランカ紅茶農園へのレインフォレストアライアンス認証取得支援	
14	一般社団法人 ボランティアプラットフォーム (ぼらぷら)	ぼらぷらは中学生・高校生・大学生・社会人と幅広い方を対象に、SDGs に関連する「オンライン SDGs 研修」「オンラインボランティア」「スキルアップ研修」「SDGs 小論文コンテスト」「渡航型海外ボランティア」「SDGs 導入コンサル」等のサービスを総合的に提供し、SDGs を推進するプラットフォーム型の NGO です。	
15	エネラボ株式会社	当社はエナジーサプライ株式会社、岡山電力株式会社とグループとなります。 再生可能エネルギー事業を現在推進しています。 CO2 の出ない電気の供給を行っています。 また、電気代の一部が社会貢献活動に繋がる電気のサービスも実施しています。	
16	クリエイイトグループ クリエイイト株式会社 ダイドレ株式会社	企業理念「快適な住環境を提供し、豊かな暮らしづくりに貢献する」を実践することにより、社会のサステナビリティ（＝持続可能）な発展に貢献しています。ダイドレ社製 Tosk Remake Cover では従来のグレーチングカバーに代わる天然石を特殊樹脂で固めた透水化粧ふたを開発、広めることにより足元から安全・安心な街造りを目指しています。 また関西大学×法政大学「SDGs アクションプランコンテストー持続可能な未来のために私たちができることー」へ協賛しています。 その他「安全・安心で、働きがいのある働きやすい健康的な職場づくり」を掲げ各種施策を推進しています。	
17	公益財団法人 太平洋人材交流センター(PREX)	途上国の発展を支える人材育成と、人材育成事業を通じた国際的な人材交流を目的に設立され 2020 年 4 月で 30 周年を迎えた PREX は、誰もが生き生きと暮ら	

		すことができる『持続可能な社会』を目指し、10年後にPREXが達成したい世界、目指す姿として「PREXビジョン2030」を策定しました。 途上国の行政官や経営者、海外からの留学生や日本企業で働く外国人社員などを対象とする研修事業だけでなく、職員自身の働きがいのある職場づくりを通じた価値を提供し、関係団体と連携しながらSDGs達成に貢献します。 ※PREX内に2019年、SDGs推進チームを設置	
18	株式会社 日刊スポーツ新聞 西日本	日刊スポーツ新聞西日本は、「やりがいがある、この会社で働いて良かったと思える会社」を目指しています。また、会社のあるべき姿として「潤いのある生活、豊かな人生に、インターネット、新聞の情報発信を通じて社会に貢献できる会社」でありたいと願っています。それを実現するため、22年4月より、SDGsに取り組む企業を連載していく予定です。	
19	株式会社 日立システムズ 関西支社	これまで日立グループの一員としてICT技術を活用したソリューションのご提供を通し、社会に貢献してきました。具体例としては、ICT技術を活用した属人化業務の撤廃、業務標準化による持続可能なシステム環境の実現や、製品製造や在庫などの需要予測を通した製品廃棄ロスの削減などに取り組んできました。	

20	株式会社コトラ	・質の高い教育を提供 ・ジェンダー平等の実現 ・代替エネルギーを提供する企業にリーダー人材を紹介し、産業の活性化に貢献 ・働きがいを経済成長につなげる（専門性人材、若者への就業機会創出、雇用流動化に貢献） ・サステイナブル経営を推進する、SDGs のリーディングカンパニーにリーダー人材を紹介し、産業の活性化に貢献	
21	近畿経済産業局	企業・経済団体はもとより、市民団体・NGO/NPO、大学・研究機関、自治体等といった産官学民の多様なステークホルダーの連携による SDGs の目標達成に向けた取組の加速を目指し、2017 年 12 月に「関西 SDGs プラットフォーム」を設立。（共同事務局：国際協力機構 関西センター（JICA 関西）、近畿経済産業局、関西広域連合） 関係機関と連携したシンポジウム、ワークショップ（ゴール別勉強会）等の各種イベントの実施、Web サイトの設置等の事業活動に取り組んでいます。 なお、当局では特に「企業の取り組む SDGs」の促進を目的に、セミナー・ワークショップ等を開催しています。	
22	株式会社テラモト	90 年以上に渡り、環境美化に繋がる商材を展開しています。また、近年では、従来商品と IoT を組み合わせた、利用者・管理者の双方が快適になるような商品開発に日々取り組んでおります。	
23	株式会社 三井住友銀行	SDGs 万博と称される、2025 年大阪・関西万博の成功にむけて、行内に特別プロジェクトチーム『関西成長戦略室』を設置。 SDGs 万博成功に向けたあらゆる挑戦を応援すべく、行内・グループ会社を挙げての支援体制を構築。	
24	株式会社 アーバンリサーチ	アパレル企業視点で個性を生かした独自の方針を設け SDGs 推進の取り組みを行っています。 2015 年より、Green Down Project に参画し羽毛製品の回収やリサイクルダウンの製品化に取り組み、2018 年には異業種協働で廃棄衣料のアップサイクルに取り組むブランド「commpost」を立ち上げました。2021 年には、大阪府主催の「万博×環境 未来を描こうプロジェクト」と協同し、同プロジェクトの防災班ユースメンバーとともに「BOSAI FASHION LABO」を立ち上げました。	

25	株式会社クラダシ	・フードロス削減への賛同メーカーより協賛価格で提供を受けた商品を一般消費者へ販売し、売上の一部を社会貢献活動団体へと寄付する社会貢献型ショッピングサイトの運営 ・人手不足により未収穫残が発生している農家の支援 ・フードバンクへの食料品支援	
26	株式会社アスエク	「世界の豊かさを底上げする」をミッションに、企業経営にサステナビリティを取り入れるアドバイザリー業務を行なっている。企業の役員、経営企画室、社長室 CSR 室、IR・広報室と一緒に、目標 No.13 気候変動を中心とした具体的なサステナビリティ中長期目標、戦略・戦術策定に携わる。また、SDGs に対する海外の取り組み事例を中心に、自社メディアにて情報発信を行い、日本社会全体のサステナビリティリテラシー向上を目指している。官民・教育分野の垣根を超えたエコシステム構築に今後取り組んでいきたい。	
27	株式会社日本旅行	観光業が将来にわたり持続可能な事業となるように「人」「風景」「文化」という観光資源の保全活動を行っている。中高生に対して修学旅行（教育旅行）を通したSDGsの学びの場の提供、ビーチクリーンなど環境保全活動、日本文化の継承のための観光コンテンツ開発や発信などが主な活動である。今後、気候変動対策の一環としてカーボンニュートラルツアーを全国に展開するなど観光を通して、社会課題の解決に寄与していきたい。	
28	株式会社ユニオン	本年度より、SDGs 社内プロジェクトを開始。当社のSDGs ポリシーをまとめ、クレドカードに記載し、社員全員に共有しました。社員全員が主体性をもって、SDGs に向き合います。来年度は、計画目標の策定と、具体的な課題の洗い出し、スケジュールリングを行います。	

29	株式会社 竹中工務店	弊社は、「まちづくり総合エンジニアリング企業」として、「人と自然をつなぐ」を環境メッセージに掲げ「環境との調和」に配慮し、「持続可能な建築・まちづくり」を目指しております。 参考 HP 『SDGs BOOKLET』 https://www.takenaka.co.jp/enviro/sdgsbooklet/ 『環境コンセプトブック』 https://www.takenaka.co.jp/enviro/feature/07/ 『森林グランドサイクル』 https://www.takenaka.co.jp/solution/needs/design/service23/index.html	
30	協同組合 関西ファッション連合	「パートナーシップで廃棄削減に取り組む」をテーマに、会員企業のSDGsへの取り組みを内外に発信し、他団体や自治体との連携で、廃棄削減の活動を拡げる支援を行っている。また、有識者で選考する「KanFA SDGs AWARD」の運営や、福井県のSDGs支援コーディネーターを受託し福井産地企業の国際認証取得の支援等、関西の繊維産地との連携事業を進めている。	
31	ピープルポート株式会社	「環境問題」、「難民雇用問題」の解決を目指し、使用済パソコンの再生・販売事業により製造過程におけるCO2発生量・水使用量の削減と共に、難民雇用機会の創出に取り組んでいます。また、回収パソコンの台数に応じ、子供教育支援を行うNPO法人への寄付活動によりSDGs目標達成を目指しています。	
32	花王グループカスタマーマーケティング株式会社	花王グループ ESG 戦略を生活者・カスタマーへ広める活動を実践。 国内全ての事業場で「ISO9001」を取得、研究開発～マーケティング～生産～物流～販売に至るサプライチェーン全体での品質保証マネジメント体制を構築。従業員に対し、ディーセントワークを推進し、フレックスタイム制・産休育休制度等を推奨。活動より職場における安全・衛生管理、多様な人材活躍、女性活躍推進、多様な働き方促進、顧客に対する配慮、製品サービスを通じた社会課題の解決を推進。	
33	松蔭高等学校 Blue Earth Project	松蔭高校・Blue Earth Project では、2006 年度より、気候変動、生物多様性、資源循環といった様々な環境問題をテーマに、女子高生ならではの発信力や発信力を生かして、女子高生にしかできないような楽しくおしゃれでスマートな解決アクションを自ら考え、多くの飲食店にキャンペーンの実施を協力依頼したり、大きな商業施設でエコ啓発イベントを実施して、SDGs 達成に向けて学校を上げて取り組んできた。	

34	Daigas エナジー株式会社	当社はお客さまの持続的な事業発展に貢献することをミッションとし、気候変動の問題にかかわる温室効果ガス（GHG）排出削減は重要課題の一つと考え、低・脱炭素社会の実現に向け、再生可能エネルギーの利用拡大、最先端の技術開発やエネルギー機器の普及、LNG利用普及等、様々な取り組みを進めています。また、年々増加の傾向にある自然災害時において、通常どおり機能することが求められるインフラの防災対策や早期復旧対策などに取り組み、レジリエンスの向上に努めています。	
35	株式会社マテックス	アパレル業界では衣料の廃棄が問題になっています。当社では縫製のあまり生地を紙に再生する取り組みを行っています。アパレルの街神戸からアパレルの廃材を活用した取り組みを、御校と共に広めたいと考えております。また廃生地にかかわらず企業・学校から出る廃材を混抄できるように事業構築。つくる責任・つかう責任を主に地球環境にやさしい企業を目指し取り組んでいます。	
36	リコージャパン株式会社	ESGの視点でのリコーグループの取り組み/実践事例 【Environment】 ・製品・サービス使用時のCO₂排出量削減(eco 指数表示等) ・森林認証コピー用紙の活用(FSC 認証用紙) ・製品・部品の回収リサイクルシステム(静脈物流の一括管理) ・「サステナブルプロダクツ」基準適合を目指したもののづくり(自社認証) ・脱炭素ソリューションの提供(省エネ、創エネ、蓄エネ、BCP対策) ・省エネモデル事業所の展開(リコージャパン和歌山支社等) ・複合機の販売台数に応じた東南アジアでのマングローブの植林 【Social】 ・ワークライフマネジメントの強化(新しい生活様式への対応) -Microsoft 365 活用を中心としたデジタルワークプレイスおよび従業員間コミュニケーションの質維持の実現 -クラウドサービス活用による業務プロセスの電子化の実現 -AI/RPA 活用による業務の省力化や自動化の実現 -ワークプレイス改革（弊社オフィス見学ツアーのご提案含む） ・文部科学省補助金を活用したIT ツール導入支援 ・アフターサービスの向上(保守体制、出力機器管理サポート) ・安全管理の強化(5S、危険箇所の抽出・改善、教育訓練) ・ものづくり工程改革(SCM 構造改革、品質向上、ボカミス防止、AI/IoT 活用による工程の自動化やデジタル化、3D プリンター活用等) ・ダイバーシティ推進(女性活躍、自立型人材を助けるキャリア支援等) ・地方創生 SDGs への貢献(教育、ヘルスケア、まちづくり) 【Governance】 ・コーポレートガバナンス体制の明示、内部統制の整備 ・災害対応(防災備蓄品管理、安否確認) ・コンプライアンス強化(CSR セルフチェック、e ラーニングの実施等) ・情報セキュリティ強化(ISMS、認証印刷、モバイル管理、クリアデスク等) ・物流事故や製品事故の防止	

37	関西電力株式会社	当社グループが持続的な成長をとげるとともに、SDGs等のグローバルな社会課題の解決を通じて社会の持続的な発展に貢献することを目的に、10個のマテリアリティ（重要課題）を特定している。	
38	吹田市下水道部	下水道部では、「生活環境を改善する」、「まちを浸水から守る」、「身近な環境を守る」取組みを実施しています。生活に欠かすことのできない重要なインフラであり、持続可能な下水道を目指し、上記内容に取組むとともに、災害発生時においても業務を継続できるよう対策を進めています。 また、近年、地球温暖化により豪雨の発生回数が増加するなど気候変動への対応も必要となることから、その取組みを検討しています。	
39	株式会社 毛髪クリニックリー ブ21 (共育分科会 事務局)	ヘチマたわしの利用により、マイクロプラスチックゴミ排出を削減する「ヘチマプロジェクト」を実践。ヘチマ栽培～実の収穫～たわし作製・利用を普及させるため、栽培協力、SDGsに関するプレゼン活動等を実施。 現在、堺市教育委員会との連携が進んでおり、堺市内の公立小学校において、ヘチマ栽培～実の収穫～ヘチマたわし作りを予定。また、関西SDGsプラットフォーム公認「共育分科会」の事務局 として、分科会会員団体と共に、SDGs活動に取り組んでいる。	
40	株式会社 JTB	【これまでのSDGsに関連したJTBの取組】 ・沖縄本土復帰50周年記念「辻井伸行×読売日本交響楽団」演奏会に沖縄の高校生と看護師をご招待 ・ウクライナ情勢による避難者支援 ・SDGs・キャリア教育・探究学習の要素を盛り込んだ『ヨコハマ探究学習プログラム』を共同開発 ・修学旅行でSDGsを学び、カーボンオフセットを実現「CO2ゼロ旅行プログラム」発売 【関西大学と協同予定の取組・活動概要】 ・社会課題解決と地方創生に貢献する「地域交流事業」への学生参加 ・SDGs理解浸透を目的とした、JTB主催のセミナー実施 ・SDGsをテーマとした教育コンテンツの提供	
41	株式会社 IKUSA	2014年から発足したチャンバラ合戦イベントを通じて、興味のない方や親子向けに地域の歴史を知ってもらうきっかけを提供。（ https://tyanbara.org/ ） 2018年から発足したあそび防災プロジェクトを通じて、防災意識の低い方に対しても防災を自分事化してもらうイベントを提供。「あそび」×「社会課題解決」というこれまでになかった事業で、自治体様や施設様、企業様、学校様の防災意識の変容に貢献。（ https://asobi-bosai.com/ ） 自治体様や施設様、企業様、学校様のSDGsのはじめの一步を支援する「SDGsコンパス」を2022年5月にリリース。皆様抱える課題を今後解決していく。	

42	農林中央金庫	弊金庫は「農林水産業と食と地域のくらしを支えるリーディングバンク」を目指し、グループ会社とともに「農林水産業の持続的発展」、「安心・安全な食料の安定供給」、「農山漁村地域の活性化」、「地域の多様性保全」、「農林水産業を通じた経済の発展」を中心としたSDGs各項目のテーマにも通じる取組みを進めております。これらの取組みを通じて、新たな産業創造と地域活性化に貢献して参りたいと考えております。	  
43	エファタ株式会社	①子どもから大人までの教育、法律・税務に関する知識の提供 ②健康で働きやすい職場の実現 ③IT・WEBにおける環境負荷の軽減、ユニバーサルデザイン	     
44	株式会社Sumapla	・お部屋検索のポータルサイトにて、日本で初めて賃貸物件のSDGs寄与度を評価し、公開する仕組みを構築しリリース。（特許出願中） https://www.sumapla.life/#/search/detail?estateID=12 ・上記のお部屋探しサイトの会員（入居希望者や賃貸オーナー）に対してSDGsの啓発を行い行動変容を促す。 ・自治体と連携し、SDGsイベント活動を実施 https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000015.000072845.html ・大学、専門学校などの教育機関と「次世代の人材育成を目的」として、ビジネススキルやSDGs活動について、講義やプロジェクト指導を実施。	        
45	堺市立 少林寺小学校	「さかいSDGs推進プラットフォーム」会員として、堺市教育委員会の支援の下、取り組みを進めている。「へちまたわし製作」「タクシー会社とのバリアフリー乗車体験」「塗装会社の余剰ペンキ活用」など地元・堺の企業や団体を中心に教育現場の連携を模索している。与謝野晶子出身校で「さかい利品の杜」と児童短歌の掲示、与謝野晶子と平和学習も行っている。堺の歴史や文化を大切にしながら、持続可能な町の未来を小学生と共に考えていきたい。	      

46	NPO法人Blue Earth Project	NPO法人Blue Earth Projectでは、2011年度の団体発足時より、気候変動、資源循環、生物多様性と言った様々な環境問題をテーマに、女子大生ならではの発想力や発信力を生かして、環境省や自治体の協力を得ながら以下のような活動している。 1. Blue Earth 塾(これが団体の主たる事業です。) - Blue Earth Projectの大学生が、全国の小中高生に出向いて、自らの環境活動を語りつつ、エコアクションプランを立てるファシリテーションを行うワークショップ。札幌、東京、横浜、富山、神戸、広島、福岡、沖縄などで毎年500人の高校生に実施。このワークショップは、若者が若者に広めていく環境啓発活動の推奨例として環境省の公式ホームページで特集していただいたり、各メディアにも広く取り上げられている。 2. エコイベント（東京湾大感謝祭、新宿御苑グリーンチャレンジデイ等） 3 自治体との連携（神戸市や札幌市の環境広報動画作成） 3. FM放送での発信（FM大阪、FMムーヴ） 4. SNSでの発信（インスタ、twitter、Facebook、YouTubeチャンネル）	
47	株式会社インフィオラータ・アソシエイツ	ロスフラワーをインフィオラータに使用し、撤去後茎と花びらを持ち帰り乾燥させて再生紙を製作。その紙をスケッチブックにして特別支援学校に寄贈。生徒達を書いてくれた絵を翌年のインフィオラータデザインにする。インフィオラータは人種・障害・年齢など一切問わず、誰もが一緒に作り上げるアート。	
48	特定非営利活動法人キッズデザイン協議会	次世代を担う子どもたちの安全・安心の向上と、健やかな成長発達につながる社会環境の創出のために、企業、自治体、研究機関、教育機関等が業種を超えて集うNPO法人。 2007年より16年の活動実績。業界横断的なネットワークにより、「子ども視点」で社会そのものを見直し、持続可能な社会環境の向上に努める。 「子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン」「子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン」「子どもたちを産み育てやすいデザイン」の3つのデザインミッションのもと、優れた子ども視点を持つ作品を顕彰する活動、異業種連携による調査研究活動、JIS、ISO化を推進する標準化活動、これらを広く社会へ啓発する	

		広報活動など各種活動を推進。	
49	小林製薬株式会社	環境面においては2001年に「小林環境宣言」を発表して以降、CO₂排出削減・製品開発エコ指標など全社で推進。近年では消臭元・ブルーレットなどの製品において環境配慮樹脂を積極的に使用。社会面においては健康をテーマに、製品を通した社会課題解決や普及啓発、女性活躍推進、ビジネスと人権の取り組みなど活動を推進。 近年では小林製薬グループ全従業員がSDGsを学び業務やプライベートで取り組むきっかけを創出するイベント「サステナビリティMeetUp!」を毎月開催し、全従業員がSDGsへの貢献に取り組んでいる。	
50	仙台市立 仙台高等学校	「総合的な探究の時間」と「ロングホームルーム」を組み合わせた「フェニックスプラン」を構築し、「自立した18歳」を育成することを目標としたキャリア教育を推進しています。このプランは平成20年度に文部科学省から表彰を受けています。令和元年からは、本プランを貫く基軸としてSDGs学習を取り入れ1年ゼミ探究、2年研修旅行、3年研究レポートのすべてにおいて関連付けを行い、世界の諸課題の自分事化を図っています。	
51	株式会社 Twenty-Two	主要事業「エシカルライフスタイルを学ぶ実践型オンラインスクール AWAKE&」(https://awake-and.com/)において気候変動をはじめとした様々な動画コースを用意し、持続可能な社会作りのために必要な「エシカル」について普及啓発活動をおこなってきました。	
52	アクアクララ株式会社	「水」を通してみなさまの“生活”“環境”“健康”に関わるアクアクララでは、以下の目標の達成に取り組んでいます。 【6.安全な水トイレを世界中に】 【14.海の豊かさを守ろう】 マイボトル利用促進。 環境配慮の観点より従業員の紙コップ・ペットボトル飲料利用の自粛を行い、マイボトル利用を推奨しています。全社で取り組むことで、紙ゴミ、ペットボトルごみの削減が進んでいます。 【6.安全な水トイレを世界中に】 【14.海の豊かさを守ろう】 3R（リサイクル・リデュース・リユース）の取り組	

		み。 お客様宅より回収した空ボトルを洗浄して繰り返し利用できるリターナブルボトルを採用しています。使い終わったウォーターボトル・ボトルキャップを単に廃棄するのではなく、適切にリサイクルし、再資源化することをブランド目標の一つとして掲げ取り組んでいます。 【12.つくる責任つかう責任】 各自治体との防災協定。 製造工場のある埼玉県熊谷市、大阪府吹田市、福岡県中間市はもちろん、浦安市、名古屋市、大阪市他、多くの地方自治体と「災害時における飲料水供給の協定」を結んでいます。上記は活動の一部ご紹介です。 詳しくは、専用サイトをご参照ください https://www.aquaclara.co.jp/corporate/business/dgs.html	
53	株式会社 MBSメディア ホールディングス	◆地産地消・減農薬・有機栽培 スパークリングワイン作り 柏原市のカタシモワインフードと連携し、休耕畑を利用したワイン作りを行う。売上げの一部は緑化活動に寄付。 ◆MBSがんキャンペーン Jump Over Cancer 検診が有効とされる5つのがん(胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん)について、視聴者にごがん検診の早期及び定期受診を呼びかけている。	
54	株式会社BPLab	弊社はアパレルメーカー、その他繊維製品メーカー、流通業、地方自治体、大学等教育機関と連携し繊維の回収・再生をおこなう循環プラットフォーム 「BIOLOGIC LOOP」の運用を開始。現在、繊維製品の循環リサイクルに関わる多様な事業を手掛けている企業です。サーキュラーエコノミーの3原則(※)を活動の中核に据え、循環のためのデザイン設計の提案から、商品の回収・再生までをサポート。BPLabが契約したリサイクル処理事業所に回収した繊維製品(綿・麻・毛・ポリエステル素材とその複合素材)を新しい繊維資源として再生することで、循環型産業へ移行することを目指します。 https://www.bplab.info/ ・J4CE 循環経済パートナーシップ登録 ・神奈川県SGDS PARTNER登録 ・愛知県サーキュラーエコノミー推進モデル事業化支援業務委託	

55	大阪シーリング印刷株式会社	環境について ・バイオマスボイラーの活用 ・LED照明の積極利用 ・バイオマスインキ使用 ・紙製品のデジタル化 社会について ・PL制度対応タック紙の開発 ・滋賀県米原市との緊急時避難所に関する協定締結 ・避難所設営シールセットの提供	
56	株式会社阪急阪神百貨店 阪急うめだ本店 サステナビリティ推進担当	・全館キャンペーンを通じたサステナビリティコンテンツ開発推進 ・自然共生型ライフスタイルを提案するフロア開設 ・パッケージや什器・装飾物等の削減を通じたサステナブルな店舗運営の実現 ・インナーキャンペーン等を通じた店内のサステナビリティ文化醸成	
57	株式会社ソクスポ	ユニバーサルスポーツ体験イベントを通じた、SDGs・ダイバーシティに関する学習機会の提供（ユニバーサルスポーツ：年齢、性別、障がい有無、国籍関係なく楽しめるスポーツ）	
58	尼崎市経済環境局 経済部商業観光課	・電子地域通貨「あま咲きコイン」でのSDGsポイントの発行 ・尼崎市SDGs推進アドバイザー、サポーター、キッズジュニアサポーター、大学生アンバサダー制度の推進 ・あまがさきSDGsパートナー制度の推進 等	
59	象印マホービン株式会社	当社は2006年より、マイボトルを繰り返し使っていただくための啓発活動を行ってきました。近年ではマイボトルを軸とした新事業の実証実験や、様々な団体と連携しての環境分野の社会課題解決に向けた取り組みを推進しています。モノづくりはもちろんコトづくりの面からも、マイボトルユーザーにやさしい社会に貢献できるよう活動しています。	

60	株式会社 折兼	バガス（サトウキビの搾りかす）・竹・麦の殻など、本来捨てられている素材を活用し、食品パッケージを開発。プラスチック製品からバガスシリーズの容器に置き換えることにより、プラスチック使用量、CO2排出量の削減に取り組んでいる。バガスシリーズの生分解性の特性から、「バガス フードサイクリング」を推奨。本来廃棄されるバガス容器や野菜残渣などを堆肥化し、再資源化している。 その他にも、小中高生向けの課外授業では、子ども達にパッケージの現状の情報を伝え、自分ごととして考えること、選択肢の幅を広げる活動も行なっている。今年、社員140名が「ECO検定」を受験予定。	
61	国立大学法人 北海道大学	中期計画・中期目標に「SDGs達成への貢献」を掲げ、2021年8月にサステイナビリティ推進機構及び機構内にSDGs事業推進本部を新設し、学内のSDGs情報の集約と発信するホームページサイトの運営や、SDGsに関する教育の体系化、教職員の研修などに取り組んでいる。	
62	北海道下川町	「伐ったら必ず植える」を60年サイクルで繰り返す循環型森林経営をまちづくりの基軸とし、森林資源を余すことなく最大限活用する仕組みを構築。利用価値のない林地残材等は、木質バイオマスボイラーの熱（公共施設熱需要の68%がバイオマスによるもの）として利用し、経済・社会・環境による統合的解決により、持続可能な地域社会の実現を目指している。 2017年第1回ジャパンSDGsアワードSDGs推進本部長賞（内閣総理大臣）受賞。2018年SDGs未来都市選定。	
63	株式会社 アックスヤマザキ	不要になったハギレなど使ってリメイクやアップサイクルなどすることで廃棄物を減らしてものを大事にする文化を育み、環境意識を変えていけるような取り手作り活動が普及するように活動推進しています。 女性に偏りがちなミシンでの手作り文化を覆すような取り組みを行い、男女平等の世の中を目指しています。	
64	社会福祉法人 大阪市障害者福祉・スポーツ協会	私たちの協会は、1977（昭和52）年の設立以来、幅広い分野で障がい者の自立と社会参加を促進するための支援に取り組んでいます。現在は、障がい者のスポーツ振興、更生療育センターの運営、障がい者の就労支援の施設・事業の管理・運営、障がい者の相談支援などの事業という4分野の事業を展開しています。 スポーツ振興は「障がい者スポーツ振興部」が担当し、スポーツ振興室、長居障がい者スポーツセンター	

(SC)、舞洲障がい者SC(愛称「アミティ舞洲」)の3部署を置き、大阪市からの指定管理を受けて、運営しています。部の基本方針として、「障がいのある誰もが、いつ一人で来館してもスタッフや仲間がいて、安心していろいろなスポーツを楽しむことができる」を掲げています。

スポーツ振興室は、障がい者の国民体育大会にあたる「全国障害者スポーツ大会」の大阪市代表選手団の選考と派遣▽パラスポーツ指導員の養成・研修▽障がい者を対象としたスキー教室の開催(今年度で第50回)▽国際親善車いすバスケットボール大阪大会の主催・主管(今年度が実質第20回)▽地域の学校や自治体、福祉施設等と連携しての地域振興などを担当しています。

長居SCは1974(昭和49)年5月、日本で初めての「障がい者専用」のスポーツ施設として開設されました。舞洲SCは1997(平成9)年10月の設立で、パラリンピック競技「ボッチャ」のナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設にも指定されています。これまでに、パラリンピック、デフリンピックの日本代表の選手やメダリスト、スタッフらを多数輩出する傍ら、障がいのある人の「生涯スポーツ」の場としての役割も同時に果たしてきました。

例えば、パラ陸上、パラ水泳、パラバドミントンといった競技の日本選手権は、長居SCでの活動や大会がルーツになっています。また、「障害者サッカー」7競技のうち、選手に重度障がい者が多い電動車いすサッカーも、長居SCが発祥地です。今年度には、「スポーツとSDGs」をテーマに、国際パラリンピック委員会

(IPC)のマセソン美季理事(長野パラリンピック金メダリスト)によるオンラインのSDGs講演会を開きました。また、近年は、コロナ禍で外出できなかった時などに、オンラインでのヨガ・体操教室を開いたほか、障害の有無に関係なく参加できるスポーツ関連事業も続けるなど、「だれも取り残さない」事業開発に努めています。

65 株式会社 山陽

有害な化学物質の排出削減(排水処理・廃棄物管理)の実施、水利用の効率改善(節水)による環境に配慮した製品づくりを実施。グリーン調達ガイドラインを制定し、環境保全に積極的な企業様・製品を優先的に調達。100%食肉の副産物である牛原皮の使用に加えて、有機溶剤系から水性系塗料への移行、植物性材料の使用などから化石の使用の削減する製品を作っている。



66	高知県	「高知県みどりの学習旅行」の実施と磨き上げ 日本一の森林率（≒84%）の高知県でも特に林業が盛んな地域である高幡地域等で森とともに暮らす人々の営みに触れながら、SDG sにつながる気づきや地域課題の解決の糸口を考える旅になるよう学生によるモニターツアーを行う。 モニターの声や本ツアー自体の結果は公開するなどし、地域の資源や体験学習旅行の目的地としての魅力の拡散・拡大につなげる。 地域側もSDG sの観点を取り込み、中山間地域のあらゆる素材を見直し、地域課題解決策につなげる。	
67	コマニー株式会社	当社は、2018年4月に「コマニーSDG s 宣言」を行いました。2030年に私たちが目指す姿として掲げた、「Empower all life～一人一人が光輝く社会に貢献～」の実現は、SDGsが目指す「より大きな自由における普遍的な平和の強化を追求する」と一致していると考えています。すべての人の幸福に貢献する価値創造モデル、「コマニーSDGs(メビウス) モデル」を経営に実装して活動を展開しております。	
68	テラサイクルジャパン合同会社	使用済み容器などのリサイクルプログラム推進、海洋プラスチックを使った商品開発、循環型のリユースプラットフォームLoopの拡大、環境教育の実施など	
69	株式会社福寿園	福寿園グループは、自然の恵みであるお茶づくりに携わる企業として、人生を潤し豊かにすることと自然環境を守り育むことが共存し、持続していく社会をめざします。お茶を通じて社会問題・社会課題の解決に取り組んでいます。	
70	株式会社 テイクアンドギヴ・ニーズ	株式会社テイクアンドギヴ・ニーズは、「幸せもめぐる。だから、幸せをつくる。」をサステナビリティコンセプトにおき、共に働く仲間、お客様、地域や環境に対して「幸せが生まれるサステナビリティ活動」を推進しています。 「環境負荷軽減」「業界人材のwell-being支援」「地域貢献」の3つのマテリアリティを掲げ、ブライダル/ホテル/レストランという資源を大量に消費する産業において、前後の工夫によって環境への負荷を最大限軽減しようという取り組みの推進や、多様な人材の働きがいや働き	

		やすさの向上、地域社会への感謝と支援に向けて一層取り組んでまいります。 環境負荷軽減 ・アップサイクルドレス、ボタニカルダイドレス制作 ・フードロス対策 ・ロスフラワー各種施策の実施 ・会場に再利用資材の使用 ・再生可能エネルギーへの切替え 業界人材のwell-being ・LGBTQ社員のパートナーシップ宣誓制度導入 ・ワークライフバランス推進 ・女性活躍推進(オンラインピル処方・女性特有の健康課題相談窓口・AMH検査・卵子凍結費用補助など) ・DE&I学習システム導入 地域貢献 ・子供向けイベント実施 ・拳式済み顧客へのイベント開催 ・地産地消メニューの提供 ・自治体、企業、団体との共創(親子向けワークショップ開催など)	
71	株式会社ナプラス	「資源と笑顔の循環を創造する」という経営理念のもと、廃棄物の適正処理や再資源化（リサイクル）を通して地域社会の環境づくりに貢献している。 また、小学校への出前授業・工場見学の受け入れ・地域清掃活動・ペットボトルキャップ回収の受け入れなどの取り組みも継続して行っている。環境展への出展、日経SDGsフォーラムへの登壇など、全社一丸となってSDGsへの意識を高めている。	
72	株式会社OSGコーポレーション	2019年より、「ステハジ」プロジェクトを推進。「使い捨ては恥ずかしい」「さあ、みんなでサステナブルはじめよう！」の考え方を通して、使い捨てから生まれる社会課題から、使い捨てに頼らない日常（未来）へ、全国400以上の企業・団体・自治体・教育機関・プロスポーツチームと共創しています。2025年大阪・関西万博では、会場に給水スポットを設置し、来場者へマイボトルの持ち歩きの啓発と、ペットボトルごみ削減に取り組んでいます。	

73	株式会社マイナビ	サステナビリティ基本方針に基づいて、パーパスの達成、そして持続可能な社会の実現のために優先的に取り組むべき5つのマテリアリティ（重要課題）を特定し、各種活動。以下、詳細URL (https://www.mynavi.jp/sustainability/management/materiality/)	
74	徳島県庁 経済産業部 関西本部	県政運営指針として、県が進める政策の基本的な方向をまとめた「徳島新未来創生総合計画」を策定しており、本計画において具体的施策とSDGsの関係性の見える化を行い、 ・目標12「つくる責任・つかう責任」の達成に向けた環境、人、社会、地域に配慮した「エシカル消費」の推進 ・目標13「気候変動に具体的な対策を」の達成に向けたクリーンエネルギーの積極的な利用等による「グリーン社会」の構築など全庁を挙げ、SDGs達成に向けた各種の取組を進めている。 また、オール徳島による「SDGs推進の輪」を拡げるため設立した官民連携組織「徳島SDGsプラットフォーム」の運用や、SDGsに積極的に取り組む企業等の「見える化」を図る「徳島SDGsパートナー制度」の運用など、SDGs取組推進に係る施策を積極的に展開している。	
75	株式会社 日本経営LINK (日本経営グループ)	自治体に対する医療計画の策定支援、地域医療構想の推進支援など、過疎化が課題になっている中でも地域住民が安心して住み続けられるまちづくりを日本経営グループとして医療体制面から推進している。 また、ヘルスケア分野を対象とした地域特化型のファンドを組成し、東北地域の医療、介護体制の維持、充実化に貢献している。	
76	株式会社 EVモーターズ・ジャパン	私たちEVモーターズ・ジャパンは、30年以上にわたり、リチウムイオン電池の充放電応用システム開発のトップランナーとして、世界のリチウムイオン電池の安全を日本の技術で支えてきました。私たちはいま、培った最新のリチウムイオン電池技術の応用として、世界最高クラスの低電力消費率、長寿命、そして安全を兼ね備えた各種EVバスを製造・販売しています。 現在、福岡県北九州市にEV専用の試運転テストコースや、EV資料館等を併設した商用EVの最終組み立て工場「ゼロエミッション e-PARK」の建設へ着手しております。 今後も日本発商用EVメーカーとして環境エネルギーの浸透とゼロエミッション社会の実現へ貢献できるよう、更なる新技術の開発に邁進してまいります	

77	カタギ食品株式会社	開発途上国での生産が主となるごまは、農家にとって重要な換金作物となり、農家収入の向上に貢献しております。また、弊社ではボリビアやエチオピアで、技術指導及び栽培指導を実施した実績があり、生産者の知識を高めることにも尽力してまいりました。特に、有機ごまの開発においては消費者の安心・安全だけでなく、生産者の農薬被ばくを防ぎ、産地の水や土壌の汚染を軽減しています。また有機ごま商品の包装はバイオマスインキを採用し、CO2の削減に貢献しております。弊社は業界に先駆けて、有機栽培のごまを自社の有機認証を取得した工場で生産し、有機JASマークを付与して発売いたしました。	
78	株式会社 バウハウス丸栄	・沖縄SDGsプロジェクト(赤土等流出問題)に参画し建築建材へのアップサイクル製品を開発中。 ・同上、沖縄達へ環境問題についてのワークショップの企画と開催。 ・全国の間伐材の利活用に向けてのスキーム構築と製品を開発中。縄の子 ・弊社の顧客に向けたサステナビリティの取り組みの提案を継続中。 (関西大学のリボーンチャレンジにも全体プロデュースとして参画)	
79	中央大学SDGsワーキング	2020年度に中央大学SDGs宣言を発出。「中央大学SDGsアクションプランアワード」や「SDGs講演会」の開催、SDGs報告書の作成など、SDGs推進に関する事業を進めてきた。2025年度より中央大学SDGsワーキング下に、大学と協働してSDGsを推進する学生団体を発足させ、自治体や企業と連携しながら、SDGs達成に向けた取り組みを行っている。	
80	ヴェオリア・ジェネッツ株式会社	【当社パーパス と SDGs の関連】 当社のパーパス（存在意義）は、「国連が掲げる持続可能な開発目標（SDGsの達成に全力で取り組み、より良くより持続可能な未来を実現して、人類の進歩に貢献する）」ことにあります。これを念頭に、当社は環境サービス事業を通じて地球を資源に満たす（Resourcing the worldという任務を自らに課しています。 当社は水、エネルギー、廃棄物処理事業という3つの分野で事業を展開する総合環境サービス事業者です。 “Resourcing the world”は、人類の進歩と環境保全を両立させるために経済、社会および環境に関する課題を包括的に捉え、事業を通して解決を図り、より良くより持	

		持続可能な未来に向けた変革を推進するという想いを示しています。 【パーパス実現のための行動】 当社は、地球環境、株主、従業員、顧客、地域社会をステークホルダーとして捉えています。そして、これらすべてのステークホルダーのために行動して価値を創出することが、地域や産業の持続可能な成長を可能にし、長期的に利益をもたらすと考えています。 この考えのもと、当社は中期経営戦略GreenUp 2027を策定し、パーパスを中心に据えた意思決定と目標管理のための仕組みとして「多面的パフォーマンス」を採用しました。これを実際の企業活動に反映するため、多面的パフォーマンスでは、各ステークホルダーに対応する環境、事業、経営・財務、人財、地域社会の5つの領域に対して、15の優先目標とその進捗を測るための定量的なKPIを設定しています。優先目標と定量的なKPIによって、実行するアクションと目標達成までの進捗管理を明確化し、すべての領域にバランスよく成果をもたらすことを目指しています。 公式HP https://www.veolia.jp/ja/purpose/our purpose	
81	認定NPO法人色彩生涯教育協会	当協会は「色彩を通じて教育・福祉・心理支援に貢献する」ことを理念とし、全国で学校教育・福祉・自治体・企業との連携を行ってきました。具体的には、 ・中学校・高校家庭科授業への色彩教育導入（全37校） ・教員向けユニバーサルカラー研修（色覚多様性配慮） ・自己理解・自己肯定感を高めるパーソナルカラー教育 ・福祉施設・企業での色彩を活かしたチームビルディング・メンタルケア 2024年度には、色彩検定協会が主催する「色彩検定」への取り組みが評価され、600を超える登録団体の中から1～3団体しか選ばれない文部科学大臣賞を受賞。	
82	株式会社 関大パンセ	1.教育・研究支援 関西大学の教育・研究活動を支援し、国際的な視野を持つ人材育成に貢献（留学サポート、カウンセリング、奨学金手続き支援）。 2.地域・社会連携 梅田の「KANDAI Me RISE」や千里山の「関大前ラボラトリ」、「ミューズたかつきカレッジクラブ」講座、ECサイト「カンダイパンセマルシェ」の運営を通じて、産学連携、地域交流の推進に貢献。 3.キャンパス環境の整備 （警備・清掃・自動販売機、スクールバスの運営） キャンパス環境の整備・管理を通じて持続可能な大学運営に貢献。	

